

# ワクチンで予防できる 「子宮頸がん」

◎問い合わせ 保健センター ☎36-5661



## 子宮頸がんとは

年間約1万人の女性が罹患し、そのうち約2、800人が死亡している子宮頸がん。近年、20代～30代の若年層で増加傾向にあり、全体の95%以上がHPV（ヒトパピローマウイルス）への感染が罹患の原因であることが分かっています。

## 子宮頸がんにかからないために…

HPVの感染は、ワクチンの接種により予防することができ、子宮頸がんは、ワクチン接種で予防できる唯一のがんといえます。市では、HPVへの感染を防ぐための予防接種を実施しています。

### 【定期接種】

●対象 小学6年～高校1年相当の女子

●回数 3回

●費用 無料

●実施医療機関 市ホー

ムページを確認ください。



## 17歳～25歳の人へ…

積極的な接種勧奨が差し控えられていた平成25年6月～令和4年3月の期間に、接種対象年齢を過ぎてしまった人を対象に、無料でワクチン接種が受けられるキャッチアップ接種を行います。

### 【キャッチアップ接種】

●対象 平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女性

●回数 3回（既に一部接種している場合は残りの回数）

●費用 無料

●期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

## がん検診も忘れずに

ワクチン接種により全ての子宮頸がんが防げるわけではありません。20歳を過ぎたらワクチン接種の有無に関わらず、子宮がん検診を受けましょう。

# あなたと大切な人を守るために、 風しん感染を防ぎましょう

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765



## 風しんとは

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散る飛沫を吸い込んで感染します。小児は発熱や発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れ、通常は数日で治りますが、まれに高熱や脳炎になつて入院することがあります。成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など、重症化する可能性があります。

また、妊娠初期（20週以前）の妊婦が感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患や白内障、難聴を特徴とする先天性風しん症候群を持って生まれてくる可能性が高くなります。



## 風しんの追加的対策

公的に風しんワクチンの予防接種を受ける機会がなかった世代を対象に、無料で風しんの抗体検査と予防接種が受けられるクーポン券を送付しています。風しんに対する抵抗

力を確認するための抗体検査を行い、抗体が低い場合は予防接種を受けます。抗体検査と予防接種は無料で、各医療機関で受けられます。

●対象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（全員に無料クーポン券送付済み）

過去に抗体検査や予防接種を受けた人は、再度受ける必要はありません。なお、3月中旬に、クーポン券対象者で未使用の人に再勧奨のハガキを送付しています。

### ●無料クーポン券の有効期限延長

有効期限が「2020年3月」、「2021年3月」、「2022年2月」と表示されていても、「2023年3月」まで使用できます。

紛失した場合は再発行できます。

また、転入した人で、以前に居住していた市町村のクーポン券を持っている人は、都城市のクーポン券と交換します。検査を希望する人は、健康課まで問い合わせください。



厚生労働省HP